

山行報告書

報告書作成

2009年12月29日

山名 [山域]	御岳山(3067m)[木曾御岳]	目的と方法	雪上訓練
登山期間	2009年12月12日(土)～12月13日(日)	山行形態	1泊2日(テント泊)
参加人数	3人		

行動記録

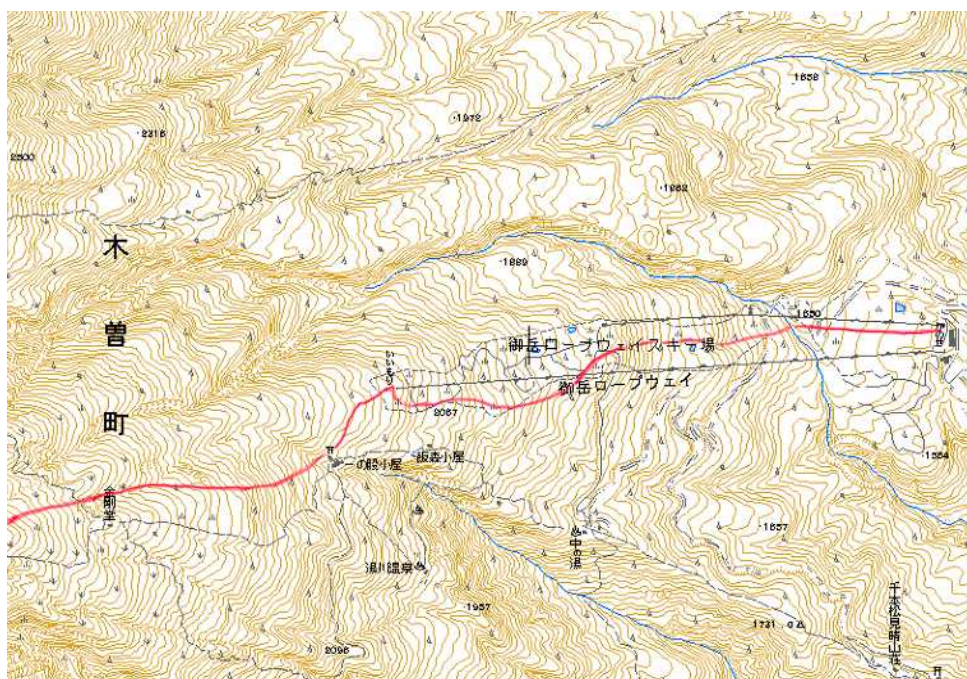
1/12(土)

岡崎市民病院(5:05) = 岡崎IC(5:15) = 恵那峡SA(6:15, 6:45) = 中津川IC(6:50) = 御岳ロープウェイ山麓駅(8:30) = 御岳ロープウェイ山頂駅(9:15) = 森林限界2350mTS(12:30)

1/13(日)

【雪上訓練】(7:00～12:00) 森林限界2350mTS(12:30, 13:20) = 御岳ロープウェイ山麓駅(16:00) = 木曾温泉(16:15, 17:15) = 中津川IC(19:05) = 恵那峡SA(19:10, 19:45) = 岡崎IC(20:40) = 岡崎市民病院(20:45)

概念図



日誌

渋滞も無く順調に御岳ロープウェイに到着。待たされることもなく山頂駅まで上がると、心配していた雪がしっかりあった。天気は曇りで寒々とした日である。尾根伝いに樹林帯を登り、後半はトレースを離れてラッセルを試みる。吹き溜まりに足を取られて難渋したため、テント場に着くのが遅くなってしまった。テント設営の後、ビーコン操作、埋没体験、気象通報、夕食。斜面にテントが分散したためか、夜の宴会は昨年より静かなのが印象的だった。20時に就寝したが、0時を過ぎた頃から風が強くなりテントを激しく揺さぶる。幸い朝になるとおさまり、美しい朝焼けを迎えた。森林限界を越えてしばらく登ってから滑落停止 アイゼン歩行(登高、下降、斜行、方向転換)等教えていただく。天気は大変良く、乗鞍や北アルプスの眺めが美しい至福の時間であった。テント場まで30分で下って撤収後、ロープウェイを利用せずそのまま下山。OPEN前のゲレンデを通るが、あまりに沈んで歩きにくいこともあり、どんどん前のパーティに引き離される。ワカンを着装したりして苦しみながら、駐車場まで辿り着いたのは最後だった。

感想

滑落停止やアイゼン歩行、天気図など忘れていたことも多く、あらためて学習したいと思います。また天候に恵まれた山行でしたが、夜半の強風ではテントの設営や場所選びは慎重にしなければいけないと再認識しました。